



11月10日号
2010
vol.118

福岡

遠か良

おんが
議会だより

9月定例会

平成21年度 決算認定 2P

決算特別委員会報告 4P

条例・補正予算 6P

一般質問 8P~10P

- ・子宮頸がんワクチンの公費助成の考えは！
- ・コミュニティバス運行計画は！
- ・乳幼児医療費の助成拡大は！

委員会レポート 11P

わがまちの伝統文化 12P

キキヨウ



ロックベアーズ

がんばりました!

なんでんかんでん

全国市町村交流レガッタ加古川大会

行政財政運営を

9月 定例会 9月定例会は、2日から21日まで20日間開催された。議案は平成21年度一般会計ならびに10特別会計の決算、条例の一部改正、平成22年度一般・特別会計補正予算など23件が上程され、慎重審議を行なった。

平成21年度 決算認定

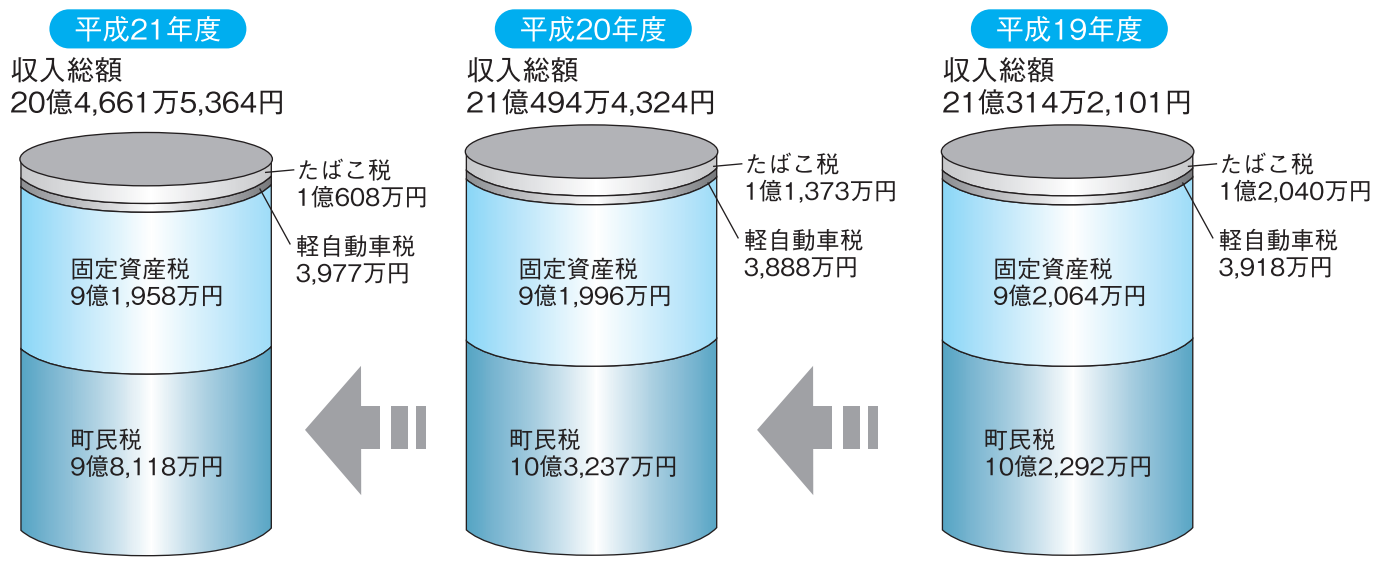
自主財源 **46.5%**
依存財源 **53.5%**

平成21年度の一般会計決算内容は、歳出総額56億5172万888円で前年度比5.9%の増である。予算規模が前年度より増大した主な要因は遠賀町中央公民館改修工事および定額給付金事業によるものである。町の主な財源は、町税などの自主財源と、国・県からの支出金や地方交付税などの依存財源によるものだが、自主財源が46.5%と50%を下回る結果となった。特別会計においては保険給付費と後期高齢者支援金が増となり、今後も高齢化や、医療の高度化等の要因により医療費の増加が懸念される。これからもさらに医療費の低減に努める必要がある。

平成21年度 各会計歳入歳出決算一覧

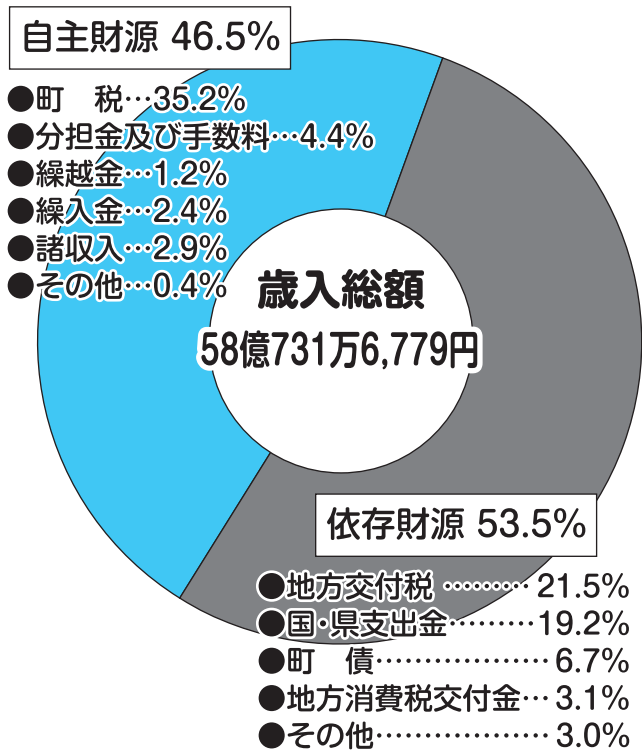
会計名	歳入	歳出	差引残額	
一般会計	58億 731万円	56億 517万円	2億 214万円	
特別会計	国民健康保険事業	20億7,394万円	20億3,864万円	3,530万円
	住宅新築資金等貸付事業	1,949万円	1,847万円	102万円
	遠賀霊園事業	1億1,855万円	1億1,533万円	322万円
	学校給食事業	1億3,769万円	1億3,752万円	17万円
	老人保健	3,928万円	3,849万円	79万円
	地域下水道事業	1億2,292万円	1億1,778万円	514万円
	農業集落排水事業	8,116万円	7,841万円	275万円
	公共下水道事業	5億4,574万円	5億3,714万円	860万円
	土地取得	45万円	45万円	0万円
	後期高齢者医療	2億2,101万円	2億1,703万円	398万円

町税の税目別収入状況の推移



自主財源確保へ！ 収納率向上と効率的な

平成21年度 一般会計歳入歳出決算

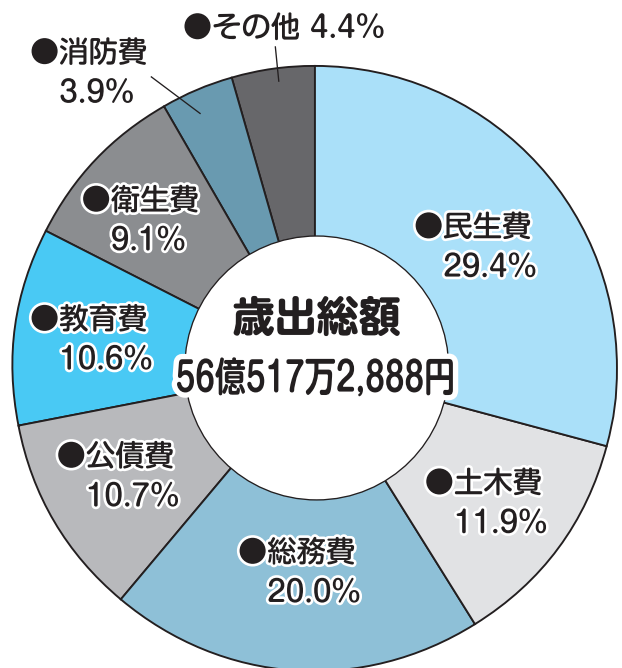


◆増加の主なもの

- ・繰入金(退職準備基金繰入等の増)
- ・国庫支出金(子ども手当の開始による増)

◆減少の主なもの

- ・町税(所得の低迷による町民税・法人税の減及びたばこ税の減)
- ・繰越金



◆増加の主なもの

- ・総務費(退職者数の増及び定額給付金事業による増)
- ・民生費(医療費及び障害福祉サービス費の増)

◆減少の主なもの

- ・土木費(街路事業のための用地購入費の減)
- ・消防費(消防防災行政無線整備事業完了による減)

監査委員指摘事項

普通会計の決算状況を見ると、実質単年度収支は7640万円の黒字である。

決算額は、歳入が前年度比9.5%増、歳出が7.2%増となっており、決算規模は拡大している。

また、平成21年度末の地方債現在高は、56億8368万円(前年度比98.0%)となるなど改善傾向がみられる。

今後も地方交付税をはじめとする依存財源は不安定であり、さらに財政が厳しくなることが予想される。

したがって、町税及び各種使用料等の収納率の向上をはじめとした歳入の確保と、自立推進計画の実行により効率的な行政運営を行い、長期的に安定した健全な財政運営を期待するものである。

※詳細な町財政状況については遠賀町公式ホームページにある「町ナビ」をご覧ください。

HPアドレス <http://www.town.ongal.jp>

平成21年度

決算特別委員会報告

委員長報告

平成21年度一般会計及び10特別会計の歳入歳出決算について、9月8日から14日まで、各担当課から主要施策の成果説明書である事業実績報告書を中心に概要聴取を行い、予算がどのように事務事業に反映されたかを審査しました。

歳入のポイントとして、経済状態が低迷するなかで、町税・補助金・その他収入の確保の努力が十分になされ、その実績が上がっているか。

歳出のポイントとして、目的とする事務遂行に対し、適正かつ効果的に執行され事業効果が上がったか、予算の流用や予備費の充当は適正か、補助金の効果は上がっているか、無駄な支出がなかったかを審査し、下記のような取り組みなどを指摘して認定しました。



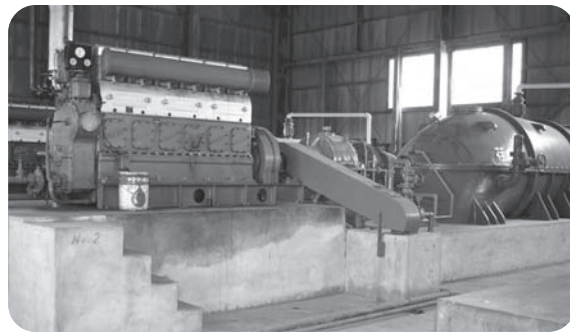
決算特別委員会

- 委員長 舛添 清美
- 副委員長 平見 光司
- 委員 堅田 繁
- 古野 修
- 宮迫 高志
- 奥村 守

Q 災害対策として、広渡排水機ポンプの点検業務や避難経路の徹底など事前対策をすべき！

A 広渡排水機場のポンプは老朽化し取り替え部品もなく、県から60万円のぎりぎりの予算で委託を受け維持補修を行っている。県に対し新しい排水機の取替えを町を挙げて要望しているが、現在事業予算がつかない状況となっている。

避難経路などは、地元やネットワークを含めすでに協議している。



Q 特定健診率の向上には対象者に合わせた柔軟な対策をすべき！

A 本町では40歳代の健診率が低く保険証の更新時に啓発しているが、今後も対象者が参加できる健診日など検討をしていく。

平成20年度決算指摘事項処理改善報告

指摘1 予算流用の件数が多く、予算積算の正確さ、予算執行の見通しをしっかりと考えるべき。

改善 予算流用、充当行為の適切な執行について通知し、予算流用通知書の決裁時に理由書の添付を義務付けた。

指摘2 職員の健康診断でアルコール依存の項目を検討すべき。

改善 アルコール依存を対象とした検査は行っていないが、肝機能調査の値を参考として、数値が高い職員を産業医と面談させ、飲酒の回数、量が多い職員には保健指導を行っている。

指摘3 農地法4条申請で資金計画の提出などの見直しを考えるべき。

改善 農地トラブルの予防等から工事完了までの資金の裏づけが必要と考える。資金計画書の本人記載がない場合でも、実際に業者が負担をして動くため、資金計画書を添付させ、その支払いの裏づけの内容

Q 霊園管理料の滞納が増えている。収納対策委員会で他課と連携をとり、情報を共有し収納強化すべき！

A 高齢者が増え分納や軽減規定など滞納者数は300件ある。特に遠方など住所照合を進めるため、基幹システムとの改修とあわせ、公正な収納対策に努めていく。また、収納のあり方についても個人情報保護法の関係で難しい部分もあるが、可能な限り収納強化に努める。



Q 年度当初から「積算誤り」「予算計上忘れ」「事業変更」などによる、多数・多額の流用は予算議決の趣旨に反することになりかねない。今後は適正な財政運営に努めるべき！

A 特に施設を利用したイベント等の予算流用や、十分な精査なく予算計上をしている分が多くあり、計画を立てる段階や予算要求時点で、計画性の欠如や精査不足に対し内部指導を行っていく。

※その他意見・指摘事項

①ファームガーデン事業は現状の補助金で生産農家は続けていくのか！

②学校給食の残菜率減少に向けもつと学校やPTAと連携して対策をすべき！

③おんがレガッタは競技だけでなく、遠賀川を活かしたイベントを計画すべきでは！



確認を行う。また、県の様式を参考に資金計画書の添付を指導していく。

指摘4 民俗資料館の利用が減っている。昔の生活を子どもたちに伝えるためにも、語り部養成講座で資格を持つ方たちとの事業を考えるべき。

改善 平成21年度は、ものづくり教室を学童保育で実施したため利用者は減っているが、一般の来館者数は100人ほど増加している。また、啓発活動として遠賀川駅舎待合室に文化財のパネル展示を期間限定して行っている。歴史ボランティア語り部養成講座の受講生の中から、島津丸歴史自然公園の各種イベントへ参加していただいた。また、各小学校の歴史教室でも子どもたちへ遠賀町の歴史文化を伝えていただいている。今年度も歴史教室「遠賀人の足跡」として講座を開催している。

指摘5 事業実績報告書の事業効果、理由欄に、もつとチェックとアクションの記載をすべき。

改善 アクションとして、〇〇を実現する、図る、推進する、強化する、進めているなど改善型に表現するように、様式も含め検討している。

平成22年度

一般会計補正予算

93,019千円増額

■主なもの

●ふれあいの里改修工事（一部）

実施設計・工事監理・工事請負費

48,610千円

財源を一部前倒して、屋根補修や玄関周り改修等を行う。



▲ふれあいの里センター受付窓口

●選挙投票システム整備

4,268千円

期日前投票や不在者投票の受付時等に入場券をバーコードで読み込めるようにする。

●農産物ブランド化推進事業費

7,500千円

遠賀町産の農産物に付加価値を付け、生産から消費までを考えブランド化に向ける。



▲菜種油精製の様子

●農業用施設補修費補助金

970千円

鬼津ポンプ施設のポンプ2台のオーバーホールと2台の弁の取替えを行う。



▲鬼津ポンプ施設

●みどころガイドブック作成調査委託料

4,500千円

町の活性化や情報発信を図るガイドブック作成のための基礎調査を行う。

●学童保育運営委託料

360千円

広渡学童で障がい児童を預かる体制を充実させるため指導員を1名加配する。

●農林水産施設災害復旧費

10,000千円

7月の大雨による災害箇所工事費。



▲がけ崩れ箇所（千代丸）

●公民館費

2,432千円

中央公民館リニューアル後の管理運営費。

●総合運動公園工事請負費

637千円

はがれて危険な状態にある体育センター1、2階トイレのタイル壁を修理する。



▲タイルのはく離箇所

特別会計補正予算

●霊園事業

5,219千円

管理手数料システムを強化し収納率を上げる。

契約変更

●中央公民館改修工事請負契約の変更

405,825千円 ↓ 417,027千円
(賛成多数可決)

内装・ガラス・電気設備工事等を変更したため契約金額が上がった。



▲改修工事中の中央公民館

条例

●町公民館条例の一部改正

(修正部分を除く原案全員一致可決)

(原案) 地域における世代間の交流を通じた町民の生きがいづくり及び地域で支えあう地域コミュニティの活性化を図るため、公民館に地域交流センターを併設する。

(修正案賛成多数可決)

(修正案) 地域交流センターの設置目的を明確にするため、第1条に規定する。

報告

●島門小学校耐震改修工事請負契約の変更

64,050千円 ↓ 68,622千円

校舎棟の既存壁に補強が生じたこと、調理室内の土間コンクリートが厚いため掘削量が増加したため契約金額が上がった。

意見書

●住民の安全・安心を守るため、遠賀川の管理は引き続き国が行うことを求める

(全員一致可決・関係機関に送付)



▲大雨時の遠賀川河口堰

Q

子宮頸がんワクチンの 公費助成の考えは！



はぎもと えつこ
萩本 悦子 議員

A

新たな施策として 今後、検討していきたい。



予防接種（イメージ）

ワークライフバランス

議員 本町の特定事業主行動計画では、男性職員の育児休業取得率を10%にする」と明記されているが、具体的にどのような取り組みを行ったのか。

総務課長 現在、行っている取り組みについては、条例の改正や休暇に関する規則の改正を行い、全職員に周知を図っている。しかし、男性職員の育児休業取得者はいない。

議員 「ノー残業デー」の取り組みは。

総務課長 一時期、水曜日を「ノー残業デー」とするという話もあったが、本町職員の時間外勤務時間は、多い職員でも平均、一ヶ月に30時間程度なので「ノー残業デー」を設ける必要があるのか：ということも現在、取り組みはなされていない。

議員

本町では、入札参加資格申請事業者に男女共同参画の取り組みのアンケートを行っているが、ワークライフバランスを推進する立場にある行政としては、範を示す必要がある。

また、事業主として、職員が仕事と子育ての両立ができるように次世代育成支援対策を推進する義務もある。まずは、第一歩として、男性職員の育児休業取得率を上げていただきたい。

議員

特定事業主行動計画は、平成22年3月31日で終了となっているが、5年間の進捗状況を検証・検討し、見直しを行う必要があると考えるか。

総務課長 2月に庁内推進プロジェクトを立ち上げている。本年度中に第2期の計画書を策定する予定である。

子宮頸がんワクチン

議員 昨秋に、子宮頸がんワクチンが承認されたが、公費助成の考えは。

副町長 新たな施策として今後、検討していきたい。

議員 本町の中学一年の女子生徒に接種するのならば、年間約400万円の子算が必要だ。一部助成という考えもあるが、私は、全額助成にすべきと考えている。検討を要望する。

また、子宮頸がんについては、誤った知識のため、患者さんへの偏見につながる恐れもある。行政としての配慮を強く要望する。

特定事業主行動計画
画：地方公共団体などが次世代育成支援対策を推進するために策定することを義務付けられている。



はまおか 濱岡
みねさと 峯達 議員

Q

コミュニティバスの今後の運営について尋ねる！

A

重要な住民サービスと 考えており、町民と意見を 交えながら対応したい。



町内運行中のコミュニティバス

路線変更に伴う
交通空白地帯対策

議員 副町長の答弁にワゴンタクシーの話があったが、具体的にどのような形で進んでいるのか。

副町長 今、具体的に言っても、地域公共交通総合連携計画の中で掲げており、この3年間の中でやっていく部分だ。

議員 昨年、遠賀町地域公共交通活性化協議会が発足され、路線変更となった。ワゴンタクシー等についても公共交通活性化協議会の中で検討されていくのか。また、答弁では、福岡市の取り組みを参考にしたいとのことだが、どのように理解してよろしいか。

副町長 福岡市、そういうのも視野に入れながら検討に入っている。遠賀町地域公共交通活性化協議

会の中で今後も検討し、その内容をバス対策協議会に報告していく。

議員 コミュニティバスに関して、情報を積極的に開示していくということだったが、どのような形でされているか、なかなか私どもの目に、あるいは耳に届かないのでどのようなことをやったということがあれば紹介されたい。

副町長 情報開示については、今後出前講座等を積極的にやって、住民の皆さんに一人でも多く参加していただき、そこで発信していく。それとあわせて、決まったものについては、今の状況や問題点、課題点を広報等で提供していく。

議員 10月から実施するという話を聞いているが

出来るだけ早くお知らせしないと、9月25日号で出されるのか、整理をして答弁を求めます。

副町長 当初10月1日ということを進めていたが、説明が予定されている老人クラブ等への説明が間に合わないような状況であり、できるだけ早く、一カ月遅れの11月実施ができればいいと考えている。

議員 交渉ごとというのは、期限がなかなか切られないという難しさがあるかと思うが、利用者は、それを待ち望んでいる。できるだけ急いでやっていただきたい。

一般質問の詳細については、遠賀町ホームページ「ようこそ議会へ」に議事録を掲載していますので、ご参照ください。

Q

入院費用を小学6年まで無料にするべきだ！



かただ しげる
堅田 繁 議員

A

十分認識している。
近隣の動向をみて検討する。



けがしないように気をつけてね
(小学校運動会の様子)

乳幼児医療費の助成拡大を

議員 これからの乳幼児医療制度をより充実させる必要があると考えるが、小学6年まで助成対象を拡大した場合、入院費の支出実績はいくらか。

住民課長 過去3年間の実績に基づいての試算で、入院費の町負担は平成21年70万円。平成20年320万円。平成19年370万円。になるが、その年によって大きく変化することがある。

議員 通院費まで含め助成対象にした場合はいくらか。

住民課長 町の負担額の概算は約2千万円になる。

議員 小学6年まで入院・通院も助成となると多額の費用が掛かる。しかし、入院費のみ助成であれば、町の支出も可能ではないか。

副町長 十分認識している。財政的に可能か協議をしながら、近隣の動向をみて検討する。

議員 遠賀町では「のびのび笑顔のおながっ子プラン」の次世代育成支援後期行動計画があり、その中では、「小学校の児童に対して助成を拡大していくかの検討をしておく必要があります」と明記してある。この計画に沿って進めていただきたい。

副町長 対象者154人中、132人を訪問できた。22人はさまざまな理由で未訪問である。虐待の疑いの把握件数は一件もない。

町職員のメンタルヘルス対策として、定期健康診断に精神疾患の項目を加えるべきだ。

副町長 うつ状態と言われる精神疾患の職員は数名いる。全職員を対象にストレス対処法の周知、医師とのメンタル相談をしている。

来年度から検査項目とする方向で検討している。

委員会レポート

第二常任委員会

平成22年8月23日

大雨による災害調査

7月13日から15日の局地的な大雨による町内の被害状況と今後の対策について、現地視察と所管事項の調査を行った。

まちづくり課所管事項

報告

農作物や農業関連の被害状況については、JAや農業共済組合などに確認をし、被害はなかったとの報告を受けた。

しかしながら、その後の調査では、水稲被害はなかったものの、大豆が一部の箇所で見

芽不能があったことを確認した。

対策

被害状況の把握や対応を、JAや農業共済組合からの報告だけではなく、各区の生産組合長との連携をとり、報告や連絡、調査などを早急に行うよう要請した。



▲戸切川（別府千代丸付近）

建設課所管事項

報告

がけ崩れ3箇所、床上浸水1棟、床下浸水5棟、河川溢水4箇所、避難指示・大字広渡の一部、並びに道路の浸水や通行止めなど町内各所にて被害が発生し

た。

今回の被害は遠賀川の増水、豪雨の時間帯と潮の満潮が重なるなどで大きな被害となった。

がけ崩れ箇所は所有者や隣接地権者との協議に対応中であるが、

床上・床下浸水の箇所は消毒などの対応を完了させている。また、

溢水箇所などについては、河川を管理する国や県に報告し対処対応の依頼を行っている。

気象状況の問題もあるが遠賀川上流・中流地域での排水処理などで遠賀川の負担が過大になっていいるのではな

対策

いかとも思われる。気象や自然状況によって今回の水害が発生したことは判るが、安心安全のためには、町単独でも優先順位によって必要な箇所につ

いては対応していくべきである。また、遠賀川や戸切川などの河川

については、国や県に早急に水害が起こらないために水害箇所の対応を依頼していくよう要請した。



▲別府高瀬付近

まとめ

議会においても、国や県への要請活動などを執行部と共に行うことや災害時の議会対応マニュアルの検討や作成など、議長に報告を行った。
（災害対策について10月26日に議会議員全員による会議を行った）

広報委員会視察研修

7月27日～28日
岐阜県安八町議会

「あんぱち 議会だより」は、平成21年度の全国町村議会広報紙コンクールで奨励賞を受賞していますので、紙面づくりの手順、ノウハウについて意見交換を行いました。安八町議会では、パソコンとプロジェクトアワーを活用し、ほとんど紙を使わずに、レイアウトの構成をその場で処理するという事です。本町議会の広報委員会でも本年度からプロジェクトアワーを使つてのレイアウトの構成を行っています。

ところで、安八町の町の花はスイセン、町の木はモクセイと両方とも本町と同じで、町の雰囲気も似通っており、とても親しみを感じた町でした。

しかし、降り立った岐阜羽鳥駅の当日の気温は、39.3℃と信じられないほどの猛暑でしたが、町民さんの「数日前は、40℃を超していたよ」とごく当たり前の様子には、驚いてしまいました。今年は、本当に暑い夏でした。



▲パソコンを使った編集の説明の様子

わがまちの

伝統文化

〜守り継がれる地域行事〜

●今古賀区の由来

慶長5年(1600年)、黒田長政公が筑前の国に入府、1612年頃から広渡村辺境の沼地(ぬまぢ)今陸の開拓が始まり、また1618年に長政公の命で遠賀川の大規模な改修工事が15年にわたり行われ、遠賀川の幅員が広がり東側は立屋敷となり、現在の遠賀川の姿が形作られた。

その結果、1622年当時の広渡村から枝分かれ、立屋敷村、今古賀村両村の成立現在に至っている。

八剣神社は1687年、立屋敷村の八剣神社より勧請して創立された。2000年建替え。



▲ 宝樹庵(今古賀区)

●宝樹庵(別名中ノ堂)

現在、元旦祭、夏祭り(獅子祭り)、風止祭り、宮日祭(おくんち)、新穀感謝祭(お宮座)の祭典を行っている。

1663年、浄土宗長岸寺庵室として創立。この年は大変な飢饉と凶作に見舞われた。そこで村民は黒田藩に年貢の減免を願い、役人がその調査に来村、各家々を細かく見て周りに最後に陸稲の切り株を発見し立腹、村の存亡の危機となり、時の庄屋が幼少のため、その補佐役、柴田次左衛門、



▲ 柴田次左衛門・林惣右衛門之碑(今古賀区)

林惣右衛門の両名が赤間の城山峠まで追いかけて、許しを請い、村の存続を願った切腹。

村民はその行為を感謝し、宝樹庵に位牌を安置し、その霊を祭り7月21日、施餓鬼法要を村の行事として毎年執り行っている。なお、後世に石碑を建立。また、盆には下ノ堂ともにも祖先供養の盆踊りを行っている。

今古賀区 柴田 和明

(参考資料 遠賀町誌、その他文書及び口伝)

第19回全国市町村交流レガッタ大会に出場

今年の全国市町村交流レガッタは、9月25日〜26日に兵庫県加古川市で開催されました。本町からは、私たち議員チームの他、「なんでもかんでもん(壮年男子の部)」、「ロックベアーズ(壮年女子の部)」の3チームが出場しました。



▲フラッグはコミセンに展示中

当日は、風速10メートルの悪コンディションにもかかわらず健闘するも決勝進出にはなりませんでした。

開会式が行われた加古川市総合体育館には、地元高校生による出場市町村の激励フラッグが飾られて大会を盛り上げていました。本町の激励フラッグは、加古川東高校の皆さんが作られたもので、町の花のスイセンをモチーフにした大変すばらしいものでした。加古川東高校の皆さんの温かい気持ち伝わって、心がほっこりした大会でした。

編集後記

「平成の大合併」が一段落したあと、わが町は単町で生き延びる道を選択し、自立推進計画を策定した。我々議会も、抜本的な行政改革を推進していく立場を明確にするため、平成19年5月より、議員定数を2名減らし14名とする案を自ら提出し可決した。

9月議会は、平成21年度の会計決算を審議し認定した。国・県からの歳入に依存している現状を自主的な財政運営に転換することは容易なことではない。「議会力」を高めるには、議員個々の努力だけでは、時として虚しさを感じる場面もある。現在の財政状況を、議員全員の認識として共有するべきだろう。

「政治とは情熱と判断力の二つを駆使しながら、堅い板に力をこめて、じわっじわっと穴をくりぬいていく作業である」(マックス・ヴェーバー「職業としての政治」という名高い定義を、この言葉の持つ重さを、今改めて自問自答してみよう。来年は皆さんの審判を仰ぐ年である。

堅田 繁

広報調査特別委員会

委員長	舛添 清美
副委員長	三原 光広
委員	堅田 繁
	古野 修
	平見 光司
	萩本 悦子
議長	濱之上 喜郎

議会だよりに関するご意見
ご感想をお寄せください。

遠賀町議会事務局
TEL293-1235

e-mail:
gikaijimukyoku@town.onga.lg.jp